

大田市立病院の運営に対する点検及び評価報告書
(令和6年度 運営状況)

令和7年12月

大田市立病院運営評価委員会

目 次

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価について	…1
2. 大田市立病院運営における個別評価事項	…2
3. 大田市立病院運営における令和6年度の実施状況及び結果	…4
4. 大田市立病院運営における各種数値	…10
5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿	…14
(参考)大田市立病院概要	…14

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価について

良質な医療の提供と健全な経営の確立のためには、院内組織による検討だけでなく、外部組織による客観的な評価・提言が必要である。

大田市立病院では、外部有識者からなる運営評価委員会を設置し、概ね年一回開催することとしている。

今回、令和6年度の運営状況に対する点検・評価を行ったことからその結果を報告する。

(1) 点検・評価方法

大田市立病院運営評価委員会による点検・評価

- ・委員…外部有識者8人
- ・委員会開催日…令和7年11月12日
- ・方法…委員7人による項目別点検・評価を実施(1名欠席)

【項目】

- 1) 収入増加、確保対策、2) 経費節減対策、3) 経営安定化対策、
- 4) その他の対策

【評価区分】

- A…取り組みを十分に行っている
- B…取り組みはしているが、一部不十分である
- C…取り組みが全く不十分である

(2) 点検・評価結果

(単位:人)

項目	評価区分	A	B	C
	1) 収入増加、確保対策		1	6
①患者数の確保		3	3	1
②診療報酬の増収		3	4	0
③その他収益の確保		1	5	1
2) 経費節減対策		4	3	0
①人件費の適正化		4	3	0
②委託費の適正化		4	3	0
3) 経営安定化対策		3	4	0
①医療従事者の確保		3	4	0
②医療従事者の育成		6	1	0
③病院経営体制の構築		3	4	0
4) その他の対策		2	5	0
①患者サービスの向上		3	3	1
②情報発信		4	3	0

※表中の数字は評価した委員の人数

2. 大田市立病院運営における個別評価事項

項目	評価・改善事項
1 収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ●229床ある中で、現在は204床ベッド。入院患者を増やす対策を早急に掲げて欲しい。 ●全国の公立病院の多くが厳しい経営環境にあり、大田市立病院も急激に費用の増加、収入の減少により資金収支が悪化している。現行の医療制度の中での取り組みには限界もあるが、収入確保対策として、患者数確保などに積極的に取り組みがなされていると評価できる。 ●B評価としたが、様々な取組を認めることができる。なかなか難しい課題で病院単位だけの解決は難しいものも多いかと考える。できる範囲での頑張りを認める。この先、数字が伴うようになると良い。 ●診療所への個別訪問や医師会との意見交換会の実施など、医療機関間の連携を強化するための取組を積極的に展開されている。また、人間ドックや健康診断等の健診事業を実施するなど、患者数・収入増加に向けて取り組まれている。一方、公立病院経営強化プランに掲げた患者数等の目標が達成されておらず、その要因についての検討が十分に確認できなかった。同プラン改定にあたっては目標未達成の要因を明らかにし、それに応じた対応を検討して欲しい。 ●数値目標の設定根拠がないと感じられるため、収入は増加する部分があっても、評価しにくい部分がある。目標達成に向けた過程は大事だが、結果がすべてだと思う。 ●前年度を上回っていても、計画目標を達成していないものと、その逆があるため総合はB評価とした。売り上げは伸びているものの計画値と大きく離れているが、おそらく診療報酬改定の関係と思われる。プランの改定に合わせて収入の見積もりや、確保対策を再検討する必要があるのではないか。 ●栄養指導算定、通所・訪問リハなど件数増がどのように経営効果にどう繋がっていくのかよくわからない。補助金は減っているがコロナ補助の減収が大きく、それ以外の部分が増加していることは評価する。令和6年度に新たに獲得した補助金があれば例示してもらえると良い。 ●中山間地域に住んでいる市民が市立病院に来院する手段を構築するべきである。
2 経費節減対策	<ul style="list-style-type: none"> ●今後とも院内在庫の適正化を徹底して欲しい。 ●前年度に引き続き、委託内容の見直し、点検などに積極的に取り組み、一定の成果が出ている。 ●委託事業の見直しにより経費の縮減が図られていることは良いと思う。取り組みの結果が表れていると思う。 ●外的環境の影響が大きい中、様々な経費節減対策を実施されている。 ●経営改善に向けた取り組みに掲げている削減をさらに進めて欲しい。 ●節減と同時に、働きやすい職場の環境づくりを考えることも大切かと思う。求められている職場環境づくりと、患者さん目線の病院にして欲しい。 ●住民が安心・安全な医療を受けることができるよう、必要な医療の質を確保することも重要であるため、経費節減最優先となり医療の質が低下しないように留意して欲しい。 ●職員配置計画が毎年どのように見直されているのかわからないため評価が難しい。時間外の勤務時間が増加しているのも、採用との関係があると思うが判別がわからないのでB評価とした。

項目	評価・改善事項
3 経営 安定化 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療従事者の育成は今後も続けて欲しい。その時に必要とする費用などは投資と考えて捻出すべきと考える。 ●入院患者を制限せざるを得ない状況とならないよう、看護師等の専門職確保に向けた積極的な取り組みが必要だと思われる。 ●学生の病院見学の受け入れは、次世代を担う学生に非常に必要。今後とも取り組んで欲しい。 ●医学生や臨床研修医の教育に力を入れ、臨床研修医の確保につながっている。一方、看護職員不足により病棟の運用を一部休止している状況を踏まえ、看護職員確保に向けた取組をより強化・強調してはどうかと考える。 ●「医療従事者の確保」は、前年と同じ内容となっているが、継続した取り組みがなされ医師、研修医の確保ができていると評価しAとした。「医療従事者の育成」についても実績を鑑みてAとした。「病院経営体制の構築」についてはBとしたが、プロジェクトチームでの取り組みなどを実績で上げて良いのではないかと思う。 ●全職員が経営状況、目標など経営安定に向けた共通意識を持つ必要があり、経営強化プラン、収支状況等について周知に努めていると報告されている。今後、職員の意識調査なども取り入れて周知度の把握なども検討するなど、一層の取り組みを進めて欲しい。
4 その他の 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●市立病院の総合受付(医療事務)において改善がされていないとの市民の声を多く聞く。委託されている中で、患者対応の強化を周知、徹底すべきである。 ●常に患者さん目線の総合病院であって欲しい。また、高齢者、外国籍の方々にわかり易い説明や案内を希望する。案内や文章にはルビをお願いしたい。 ●患者満足度調査では総合的な満足度は概ね良好と評価されているが、個別では、入院、外来ともに満足度ポイントが低下している事例がある。継続しての改善に向けての取り組みをお願いしたい。 ●患者満足度調査や接遇研修会などの取り組みを継続し、引き続き患者のニーズに沿った医療サービスを提供して欲しい。 ●ホームページにアンケートの意見に基づいて改善したことなどがあれば、紹介すると喜ばれる人もいるのではないかと思うし、病院に親近感が持ってくれる方もいらっしゃるのではないかと思う。 ●精算機の不具合では、3回エラーが出るとそのカードが使えなくなり患者さんに迷惑がかかる。島根大学医学部附属病院や島根県立中央病院ではそんなことにならないと話を聞く。考えていただきたいと思う。 ●予防の観点から若年者層への検診及び人間ドックなど、PRを強化していくことが必要。 ●まめネットについては、外来カルテは閲覧可能であるが、入院カルテは閲覧不可となっているため、紹介元医療機関が患者情報を得るためにも積極的にカルテ情報を公開されるよう検討をお願いしたい。 ●いずれも取り組みがなされているのでA評価とした。アンケート回答者にもわかるように結果をフィードバックされたことは素晴らしいと思う。 ●昨年書いたが、自由意見はテキストマイニングなどでもう少し詳細な分析をしても良いのではないかと思う。

3. 大田市立病院運営における令和6年度の取組状況及び結果

1)収入増加、確保対策		
取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
①患者数の確保	1 診療所への訪問や診療科案内、診療実績の送付	<p>【◇取組状況】</p> <p>○22医療機関(上半期:10医療機関、下半期:12医療機関)を訪問。昨年度と同様着任医師の紹介や診療科案内、診療実績について情報提供を行い、患者紹介の依頼を実施。</p> <p>○各診療科のアピールポイントをまとめたビラを作成し配布。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○紹介患者数:6,310件(対前年度比:+526件)</p>
	2 医療機関間の連携強化	<p>【◇取組状況】</p> <p>○主に出雲圏域からの継続加療、リハビリ目的の転院の受け入れ。</p> <p>○特別養護老人ホーム入所者の軽症例の受け入れ。</p> <p>○開業医等からの入院相談・依頼への受け入れ対応。</p> <p>○大田市医師会会員を対象とした大田市立病院見学会及び意見交換会の開催。</p> <p>【取組結果】</p> <p>○転院受け入れ件数:168件(対前年度比:△4件) (回復期リハビリ直入38件、地域包括ケア54件、一般76件)</p> <p>○特別養護老人ホームからの軽症例患者入院受け入れ件数 13件</p> <p>○開業医からの入院受け入れ件数 12件</p> <p>○介護老人保健施設からの入院受け入れ件数 1件</p> <p>○訪問看護事業所からの入院受け入れ件数 1件</p>
	3 救急患者の積極的な受け入れ	<p>【◇取組状況】</p> <p>○医療機関訪問を行った際に救急を含む患者の紹介を依頼。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○救急患者数:7,578人(対前年度比△837人)</p> <p>※令和5年度は、新型コロナウイルス感染による発熱患者の救急受診があった。新型コロナウイルス禍以前の救急患者数より増加(平成30年度:6,325人)</p>
	4 CTやMRIなど医療機器の積極的な活用	<p>【◇取組状況】</p> <p>○骨折リエゾンサービス活動における骨密度検査の積極的な受け入れは継続実施。</p> <p>○MRI検査の昼休憩枠の開放による予約検査数増枠は継続実施。またR6年度より外部依頼検査の当日飛び込み検査の積極的な受け入れ実施。</p> <p>○CT検査では外部依頼検査の当日飛び込み検査受入を全面的に受け入れ実施。</p> <p>令和6年度は各検査共に新病院移転後、過去最高の検査件数となっている。</p> <p>・CT検査装置稼働件数:9,330件(対前年度比:+314件)</p> <p>・MRI検査装置稼働件数:3,384件(対前年度比:+240件)</p> <p>※骨折リエゾンチームサービスとは…骨粗鬆症の治療向上と転倒予防を目的とした多職種連携システム</p>
	5 院内多職種及び院外関係機関との連携等による退院支援	<p>【◇取組状況】</p> <p>○入院早期から患者・家族と面談し意向確認しながら院内多職種及び院外関係機関と連携を図り退院支援を実施。</p> <p>○患者が病院から安心・安全に在宅療養に移行し、継続できるよう院外の関係者と連携し情報共有、カンファレンスを実施。医療依存が高い患者は院内外の医師を交え退院前カンファレンスを実施。</p> <p>○退院支援の質を向上させるため、退院した患者の退院支援について振り返るフィードバックカンファレンスを継続して実施。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○入退院支援加算の算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数:1,533件(算定率:44.3%) (前年度比:△185件(△5.9%)) <p>○退院後訪問指導の算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数:4件(対前年度比:+4件) <p>○退院時共同指導2の算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数:57件(対前年度比:△8件) <p>○介護等支援連携指導の算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数:157件(対前年度比:△9件) <p>○退院前訪問指導の算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数:14件(対前年度比:+2なし)

取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
①患者数の確保	6 人間ドック・健康診断等健診事業の実施	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間ドックを毎週2日(火・金曜日各定員4人)継続実施。 ○美郷町国民健康保険対象者への人間ドックを検討。その後依頼し、契約締結。 ○血液検診の継続実施。 ○乳がん、子宮がん検診の継続実施。 <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間ドック <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数:183件 (対前年度比:△31件) 大田市国保123件 (対前年比△52件) 美郷町国保6件 (対前年比+6件) ・受託先団体:6団体 (+2団体) ○血液検診 <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数:3件 (対前年度比:+3件) ○乳がん、子宮がん検診 <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診:90件 (対前年度比:△3件) ・子宮がん検診:570件 (対前年度比:+4件)
	7 訪問看護、訪問及び通所リハビリテーションの提供	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度末(令和4年2月)より訪問リハビリテーション担当者を2名増員したサービス提供体制を継続中。 ○オンデマンドの活用や訪問看護サミット(WEB参加)等の研修参加により、訪問看護の看護の質向上・最新情報を入手。 ○病棟業務を行っている看護師を兼任で引き続き配置することにより訪問看護提供に係る体制を整備。 ○ターミナル期・医療依存度の高い利用者の積極的な受け入れにより、看護体制強化加算取得を継続。 ○30分訪問の利用者の訪問時間を柔軟に設定し、訪問件数増加。 ○土日祝日の営業日以外も、必要に合わせて柔軟に対応。 <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者数(対前年度増減) <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護:4,084人(+516人) ・訪問リハ:1,462人(△5人) ・通所リハ:476人(+2人)
②診療報酬の増収	8 がん化学療法の拡充	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○副作用パンフレットの利用や化学療法の説明と同意書の全科統一書式により、患者が安心して治療を受けられる環境を提供。 <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外来化学療法加算1(450点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):58件(7人) (対前年度比:+45件(人数:△3人)) ○外来腫瘍化学療法診療料1(初回から3回まで)(800点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):458件(60人) ○外来腫瘍化学療法診療料1(4回目以降)(450点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):7件(5人) ○外来腫瘍化学療法診療料1(イ以外の必要な治療管理を行った場合)(350点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):40件(11人)
	9 リハビリ施行単位数増につながる業務の効率化	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度末(令和4年2月)より訪問リハビリテーション担当者を2名増員したサービス提供体制を継続中。 ○令和6年11月より科学的介護情報システム(LIFE)によるデータ提出加算を算定開始。 <p>通所リハビリ リハビリテーションマネジメント加算(イ) 240単位→(ロ)273単位/月 訪問リハビリ リハビリテーションマネジメント加算(イ) 180単位→(ロ)213単位/月</p> <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通所リハ算定点数:379,301点(対前年度比:+36,602点) ○訪問リハ算定点数:1,379,233点(対前年度比:△36,347点) <p>※科学的介護情報システム(LIFE)とは…介護サービス利用者の状態やケアの計画・内容についてのデータを全国の介護施設・事業所から集め、集めたデータを分析し、その結果をフィードバックする情報システム</p>
	10 栄養管理指導・薬剤管理指導など各種指導の件数増加	<p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栄養指導算定人数:1,331人(対前年度比:△176人) ○薬剤管理指導件数:3,917件(対前年度比:+118件)

取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
②診療報酬の増収	11 適正なベッドコントロールの実施	<p>【◇取組状況】</p> <p>○朝週2(火・木)、夕方週1(金)に、患者情報の共有を行い転棟調整を実施。 ○DPC IIの期間を目安とした転棟調整や一般病棟から地域包括ケア病棟への転棟割合6割未満(地域包括ケア病棟入院基本料の施設基準)を目標としたベッドコントロールを実施。 ○例年の取組に加え、DPC II・看護必要度・診療単価などの指標共有を強化。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○一般病棟から地域包括ケア病棟への転棟割合6割未満、地域包括ケア病棟への直接入院2割以上を医師の協力や病棟の管理強化により達成。</p>
	12 経営健全化検討委員会における新規基準取得に向けた検討	<p>【◇取組状況】</p> <p>○令和6年度診療報酬改定に向け経営健全化検討委員会において議論、検討を行い、新規施設基準取得。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○主な施設基準の取得状況(新規取得)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク分娩管理加算 ・外来・在宅ベースアップ評価料(I) ・訪問看護ベースアップ評価料(I) ・ストーマ合併症加算 ・医療DX推進体制整備加算 ・地域医療体制確保加算 ・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2) ・急性期一般入院料4 ・24時間対応体制加算(訪問看護医療) ・高齢者虐待防止措置実施有無(基準型)(訪問リハ)(通所リハ) ・業務継続計画策定有無(基準型)(通所リハ) ・認知症短期集中リハビリテーション実施加算(加算II)(通所リハ) ・科学的介護推進体制加算(通所リハ) <p>(変更申請分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症者等療養環境特別加算 ・がん患者指導管理料ロ ・リハビリテーションマネジメント加算(加算ロ)(訪問リハ)(通所リハ)
	13 診療報酬検討委員会における適正算定、査定分析	<p>【◇取組状況】</p> <p>○院内での点検・精査の強化についての継続実施。 ○診療報酬検討委員会での査定分析。 ○査定状況を医師、担当部署に情報提供。 ○診療会議において査定分析状況の周知。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○査定率:0.20%(前年度比:△0.15%)</p>
	14 診療費支払督促強化による未収金の縮減	<p>【◇取組状況】</p> <p>○診療費支払督促文書送付の継続(106件) ○不納欠損処理を実施(8人:17件:1,301千円) ○会計年度任用職員を1人配置、訪問督促を引き続き実施。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○年度末診療報酬個人未収金残高:3,397千円 (対前年度末:△428千円)</p>
	15 DPC運用の管理徹底	<p>【◇取組状況】</p> <p>○DPC分析システムにより、3か月毎のDPCデータ分析を実施し、各診療科へのフィードバックすることで質の高い効率的な医療の提供。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○機能評価係数 0.1028(前年度:0.1077)</p> <p>※DPC制度(診断群分類包括評価制度)とは・・・病気に対して効率よく無駄のない透明性のある医療を行うことを評価するもので、基本的には、入院初期に医療資源を集中的に投入し、早く病気を治すことにある。結果的に入院期間(在院日数)は短くなり、患者さんの経済的な負担や身体的ストレスが軽減される。また、患者さんを効率よく最短距離で治療・回復をした場合に、病院の入院収益が最も大きくなるような仕組みになっている。</p> <p>※機能評価係数とは・・・DPC/PDPS(診断群分類別包括評価支払制度)に基づいて請求を算出する際、入院基本料や検査、投薬などを含む包括評価にかけ合わせる、医療機関別係数の種類。</p>

取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
③その他 収益の確保	16 病院敷地内未活用地の 売却	【◇取組状況】 ○残地3, 487.93㎡の売却に向けた対応。 【◆取組結果】 ○処分地隣接道「公衆用道路」の市道認定への協議。 土地の売却に向け、建築基準法上の接道条件を満たせるよう、処分地隣接道「公衆用道路」を公道「市道」に認定するための関係機関（島根県公安委員会、島根県県央県土整備事務所、大田市建設部）協議を実施 ○市道認定に向けた公衆用道路及び構内道路改良工事実施設計。 関係機関協議を踏まえた道路改良工事実施設計を実施
	17 国県補助金の活用	【◇取組状況】 ○補助金の活用に向けて島根県などから情報収集。 【◆取組結果】 ○国県補助金: 21, 193千円(対前年度比: △47, 353千円)。 ○電子処方箋や医療扶助及び訪問看護のオンライン資格確認導入経費の一部又はすべてに補助金を活用。
	18 駐車場等所有財産の貸付	【◇取組状況】 ○職員及びテナント業者による職員駐車場利用。 【◆取組結果】 ○職員及びテナント業者による職員駐車場利用料 職員: 348, 406円 委託業者: 229, 500円(3業者分)
2)経費節減対策		
取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
①人件費 の適正化	19 適正な人員配置を反映 した職員配置計画の見 直しによる医療提供体 制の最適化	【◇取組状況】 ○必要人員の確保のため職員採用試験を実施。 ○適正な配置転換等の実施。 【◆取組結果】 ○職員採用試験を実施。 ○患者数や職員の状況に応じた適正な配置転換等の実施。
	20 時間外勤務の縮減	【◇取組状況】 ○看護師における変則3交替制勤務を引き続き実施。 ○衛生委員会にて各職場における時間外労働の実態について情報共有。 【◆取組結果】 ○正規職員1人当たり1カ月の時間外勤務実績: 10. 4時間 (対前年度比: +0. 9時間)
②委託費 の適正化	21 業務委託内容の点検、 見直しによる委託費の 適正化	【◇取組状況】 ○医療事務委託業務について、毎月1回委託業者との定例会にて意見交換を実施。双方からの意見を基にした業務改善への取り組み実施。 ○個々の契約の一本化による契約額の削減交渉。 【◆取組結果】 ○院内がん登録実施にあたり、委託していたがん登録業務を職員で行う事により委託料年額2, 400千円減額。 ○医療機器の保守について、個々の契約を一本化を追加継続することにより400千円削減。
	22 薬品や診療材料の仕入 れに関する価格交渉方 法の見直し	【◇取組状況】 ○ベンチマークシステム活用による業者との価格交渉。 【◆取組結果】 ○医薬品: 416千円削減。(単価交渉前後による比較、概算) ○診療材料: 原材料等の高騰の為、昨年度比から増額 ※ベンチマークシステム: システムを導入している各病院から薬剤・診療材料の契約単価や購入実績データを集計し、平均単価、採用品の市場状況等が公表される。
	23 安価な同等品の活用	【◇取組状況】 ○高価な採用品を見直し、安価な製品に切替。 【◆取組結果】 ○削減額: 938千円削減(概算)
	24 後発医薬品の積極的な 活用	【◇取組状況】 ○後発品の流通状況を踏まえ、医師と調整し積極的に後発品と切替。 【◆取組結果】 ○削減額: 1, 661千円

取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
②委託費の適正化	25	費用対効果や必要性を踏まえた医療機器の適正な購入 【◇取組状況】 ○機器選定委員会による適正機器の選定。(価格、ランニングコスト、性能等の比較検討) 【◆取組結果】 ○安価な機器の選定:無影灯 当初(山田医療照明製)2,915千円→(ドレーゲル製)2,475千円 ○純正品から汎用品への選択:内視鏡モニター 純正品(オリンパス製)1,240千円→(ソニー製)616千円
	3)経営安定化対策	
取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
①医療従事者の確保	26	島根大学医学部、島根県及び地域医療支援センターとの連携 【◇取組状況】 ○島根大学医学部各教室を定期的に訪問し、医師派遣を要望。 ○島根県が主催する医療審議会等の場で医師不足を含めた地域医療の実態を説明。 ・島根県地域医療支援会議(計2回出席、WEB開催) ○地域医療支援センターが主催する県内基幹型臨床研修病院連絡会(8病院)の場で、研修医の確保・研修内容等について情報交換や意見交換。 ・計3回出席(Web(2回)及び現地(1回)開催)
	27	大田市出身学生や研修医とのつながりを強化 【◇取組状況】 ○大田市医療政策課を交えた臨床研修推進室医師による大田市出身の医学生への面談(1回)、地域枠推薦希望の学生への面談(1回)を実施。
	28	大田総合医育成センターの支援強化 【◇取組状況】 ○総合医療学講座、育成センター会議の事務局として、会議の開催支援。 ○育成センター医師の研究支援。
	29	医師の勤務環境改善 【◇取組状況】 ○医師クレークの配置。 ○宿直翌日の勤務負担軽減。 【◆取組結果】 ○医師クレーク(17人)の配置。 ○宿直翌日の勤務負担軽減(職免により)
②医療従事者の育成	30	研修医にとって魅力的な研修プログラムの作成 【◇取組状況】 ○研修ローテーションを指導医と相談しながらカスタマイズする。 【◆取組結果】 ○研修医よりローテーションの変更等の手続きなどを実施。
	31	医療従事者の現場実習受け入れ 【◇取組状況】 ○医学生実習の積極的な受け入れ。 ○医師以外の各職種養成学校等からの実習受け入れ。 【◆取組結果】 ○医学生実習59人を受け入れ。実習中に当院医師との交流を行った。 ○養成学校等からの実習受け入れ。 ・薬剤師1人、看護師9人、理学療法士7人、作業療法士5人、言語聴覚士4人、管理栄養士2人、救急救命士1人
	32	学生の病院見学受け入れ、講演会の実施 【◇取組状況】 ○小学生の病院見学、中学生の職場体験、高校生の医療体験セミナー・インターンシップ等の受け入れ。 ○学校での出前講座等での講演。 【◆取組結果】 ○小学生・中学生の病院見学 8校・157人 ○中学生の職場体験 7人 ○高校生の医療体験セミナー 3人 ○高校インターンシップ 7人(看護部4人・リハビリ2人・栄養1人) ○出前講座の実施 12団体(うち学校3校)・312人
③病院経営体制の構築	33	職員の経営参画意識の向上 【◇取組状況】 ○毎月開催している診療会議において、患者状況及び収益状況等を説明。 【◆取組結果】 ○経営強化に向けた取り組みや数値目標、収支計画を定めた経営強化プランを電子カルテシステムトップページに掲載、職員に周知。
	34	病院情報・経営情報の収集、課題抽出、対策実践 【◇取組状況】 ○電子カルテシステムトップページに病院情報、経営情報の速報値を掲載し、職員の情報共有。 ○県内にある13の自治体病院での情報交換会に年3回出席、他院から情報収集。

取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
③病院経営体制の構築	35 業務の特性を踏まえたプロパー職員の採用・育成	【◆取組結果】 ○令和6年4月1日付けでプロパー職員(診療情報管理士)を1名採用。 ○職員の各専門分野における知識向上、最新の知見取得、業務スキルアップを目的とした自己研鑽扱いの学会等の参加に係る旅費等の助成を実施。 助成人数:44人
4)その他の対策		
取組項目		令和6年度 取組状況及び結果
①患者サービスの向上	36 患者満足度調査を踏まえた状況把握、分析、対策の実施	【◇取組状況】 ○患者満足度調査を平成27年度から継続実施。 ○訪問看護満足度調査を平成25年度から継続実施。 ○みなさまの声(ご意見箱)の設置(通年)。 【◆取組結果】 ○患者満足度調査を実施。 ・期間 外来:令和6年11月11日～15日 入院:令和6年11月11日～令和6年12月9日 ・回答数:外来518人、入院80人 ○訪問看護満足度調査を実施。 ・期間:令和7年1月14日～31日 ・回答数:82人 ○いずれも調査報告書(別添資料)を作成し、院内外に周知。 ○みなさまの声の意見による取組改善。 ・すべての意見に患者サービス向上チーム会の協議により回答を作成し、掲示板に掲示。 ・病院へ提出する申請書等について押印の必要性について調査・検討。 ・意見を担当部署へ周知し、改善を指示。
	37 職員の接遇教育の継続的な実施	【◇取組状況】 ○接遇研修会の開催(全職員対象)。 【◆取組結果】 ○接遇研修会の開催(全職員対象)。 ・「社会人としてのマナー魅力アップセミナー」 開催日:令和6年11月20日 講師:桑谷 優子 氏(ミュージクリエイト 代表) 参加者:61名
	38 まめネットの積極的な活用	【◇取組状況】 ○参加・閲覧同意の普及活動(ポスター掲示、幟の設置)。 【◆取組結果】 ○参加同意及び閲覧同意累計件数:5,718件(令和6年度末) ○新規参加同意及び閲覧同意件数:318件(対前年度比:137件) ○当院が連携カルテを閲覧した件数:580件(対前年度比:231件) ○他院が当院の診療情報を閲覧した件数:3,368件(対前年度比:370件)
②情報発信	39 広報活動の推進	【◆取組結果】 ○病院広報誌「銀の風」を4回発行(全戸配布)。 ○ホームページ、フェイスブック、LINEによる適時な情報発信。 ○ぎんざんテレビを活用した情報発信。令和6年3月より各診療科などからお知らせ番組を放映(放映後ホームページにて動画配信)。
	40 各種イベントの開催	【◇取組状況】 ○「病院まつり」及び「看護の日」イベントの開催。 【◆取組結果】 ○病院まつり ・血管年齢や血糖・骨密度などの測定コーナーや、アロマハンドマッサージ、手術室体験(お子様向け)、おたのしみゲームコーナーなど様々なブースを設置。700名を超える多くの来場者があり、大盛況であった。 ○看護の日 ・エントランスホールで看護の日の紹介や看護師の取り組みなどをポスター掲示により紹介。栄養指導のブースを設置。リハビリ職員によるフレイルチェックと予防体操。院内保育所園児による歌と踊りの披露・作品展示など。

4. 大田市立病院運営における各種数値

■ 医療機能・医療品質、連携の強化等に係る数値(経営強化プラン(以下、プラン)P9)

(1) 医療機能・医療品質に係る項目(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
救急患者数(人)	6,123	9,395	8,415	7,000	7,578	578	7,000	7,000	7,000
手術件数(人)	715	703	685	850	657	△ 193	850	850	850
分娩件数(件)	198	178	157	220	131	△ 89	220	220	220
臨床検査件数(件)	883,091	925,154	912,911	980,860	906,531	△ 74,329	980,860	980,860	980,860
画像診断装置稼働件数(件)	26,592	26,943	27,823	27,800	29,220	1,420	27,800	27,800	27,800
薬剤管理指導件数(件)	3,121	3,320	3,799	4,500	3,917	△ 583	4,500	4,500	4,500
栄養指導算定人数(人)	1,472	1,615	1,507	1,400	1,331	△ 69	1,400	1,400	1,400
リハビリ件数(人)	44,577	43,189	48,092	45,000	46,133	1,133	45,000	45,000	45,000
訪問看護患者数(人)	4,176	3,538	3,568	3,900	4,084	184	3,900	3,900	3,916

(2) 連携の強化等に係る目標(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
紹介患者数(人)	6,067	5,534	5,784	7,000	6,310	△ 690	7,000	7,000	7,000
逆紹介患者数(人)	5,602	5,486	5,845	6,500	5,914	△ 586	6,500	6,500	6,500

(3) その他の項目(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
研修医の研修受入件数(人)	7	10	8	8	9	1	9	9	9
人間ドック件数(件)	192	204	214	220	183	△ 37	220	220	220
健康診断件数(件)	265	306	343	270	325	55	270	270	270
健康・医療相談件数(件)	2,320	2,603	2,679	2,500	2,408	△ 92	2,500	2,500	2,500

■ 経営強化に向けた数値(プランP17)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
1日平均入院患者数(人)	163.0	157.8	164.0	190.0	168.4	△ 21.6	190.0	190.0	190.0
1日平均外来患者数(人)	495.1	487.2	487.5	500.0	492.2	△ 7.8	500.0	500.0	500.0
入院単価(円)	44,774	46,347	45,171	46,597	45,358	△ 1,239	46,597	46,597	46,597
外来単価(円)	10,619	11,698	11,602	11,403	11,743	340	11,403	11,403	11,403
病床稼働率(%)	75.7	73.3	76.3	86.5	78.0	△ 8.5	86.5	86.5	86.5
入退院支援加算件数	1,319	1,524	1,718	1,650	1,533	△ 117	1,650	1,650	1,650
給与費対医業収益比率(%)	71.3	69.9	71.0	65.6	73.5	7.9	65.5	65.6	65.5
材料費対医業収益比率(%)	18.1	19.1	19.6	18.0	20.1	2.1	18.0	18.0	18.0
経費対医業収益比率(%)	18.4	19.4	19.2	17.6	19.0	1.4	17.6	17.6	17.6
常勤医師数(人)	33	32	33	33	30	△ 3	33	33	33

※常勤医師数は各年度末人数

「常勤医師」: 病院事業管理者、常勤医師、大田総合医育成センター医師

■ 収支計画(プランP18、19)

(1) 収益的収支(プランP18)

(単位:百万円、税抜)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)	
				(計画)	(実績)	(差)				
収 入	医業収益(a)	4,320	4,451	4,497	5,023	4,580	△ 443	5,023	5,023	5,037
	入院収益	2,636	2,656	2,703	3,231	2,785	△ 446	3,231	3,231	3,240
	外来収益	1,265	1,360	1,394	1,391	1,394	3	1,391	1,391	1,396
	その他医業収益	419	435	400	401	401	0	401	401	401
	一般会計繰入金	283	296	286	290	302	12	290	290	290
	その他	135	139	114	111	99	△ 12	111	111	111
	医業外収益(a)	1,408	1,228	649	575	548	△ 27	569	565	554
	一般会計繰入金	463	430	441	431	400	△ 31	429	427	425
	その他	945	798	208	144	148	4	140	138	129
	特別利益(c)	5	4	5	0	2	2	0	0	0
収益的収入(A)=(a)+(b)+(c)	5,732	5,683	5,151	5,598	5,130	△ 468	5,592	5,588	5,592	
支 出	医業費用(d)	5,347	5,606	5,696	5,798	5,877	79	5,752	5,697	5,755
	給与費	3,082	3,111	3,191	3,293	3,366	73	3,290	3,294	3,299
	材料費	781	852	883	905	921	16	905	905	908
	経費	797	861	863	884	870	△ 14	885	885	886
	減価償却費	676	772	744	702	707	5	658	598	647
	その他	12	10	15	15	13	△ 2	15	15	15
	医業外費用(e)	262	273	275	282	278	△ 4	279	276	274
	支払利息	51	49	46	43	43	0	40	37	34
	その他	212	224	229	239	235	△ 4	239	238	239
	特別損失(f)	9	12	43	0	4	4	0	0	0
収益的支出(B)=(d)+(e)+(f)	5,619	5,891	6,014	6,080	6,158	78	6,031	5,973	6,029	
収益的収支(C)=(A)-(B)	113	△ 208	△ 863	△ 482	△ 1,028	△ 546	△ 438	△ 385	△ 437	
減価償却前等収支(D)	797	592	△ 65	217	△ 306	△ 523	221	217	223	

※表示単位未満四捨五入の関係で、合計値と計の値が一致しない場合がある。

※外来収益及びその他医業収益、医業費用には訪問看護における収益及び費用を含む。

(2)資本的収支(プランP18)

(単位:百万円、税込)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
収入									
資本的収入(E)	947	365	311	353	430	77	312	1,014	550
企業債	563	78	44	30	101	71	30	500	30
一般会計繰入金	331	243	229	323	325	2	282	514	520
その他	53	44	38	0	5	5	0	0	0
支出									
資本的支出(F)	1,195	567	468	546	623	77	433	1,195	737
建設改良費	646	120	49	30	107	77	30	500	30
企業債償還金等	541	442	411	507	507	0	394	686	699
その他	7	6	8	9	10	1	9	9	9
資本的収支(G)=(E)-(F)	△ 248	△ 202	△ 157	△ 193	△ 194	△ 1	△ 121	△ 182	△ 187

※表示単位未満四捨五入の関係で、合計値と計の値が一致しない場合がある。

(3)資金(プランP19)

(単位:百万円)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
単年度資金収支	550	390	△ 223	24	△ 499	△ 523	101	35	36
資金期末残高	536	883	767	932	261	△ 671	1,035	1,073	1,114

(4)一般会計繰入金(再掲)(プランP19)

(単位:百万円)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
収益的収入	746	726	727	720	702	△ 18	719	716	715
医業	283	296	286	290	302	12	290	290	290
医業外	463	430	441	431	400	△ 31	429	427	425
資本的収入	331	243	229	323	325	2	282	514	520
合計	1,077	969	956	1,043	1,026	△ 17	1,001	1,230	1,235

【参考】(プランP19)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度			7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
				(計画)	(実績)	(差)			
経常収支比率(%)	102.1	96.6	86.2	92.1	83.3	△ 8.8	92.7	93.6	92.8
修正医業収支比率(%)	75.5	74.1	73.9	81.6	72.8	△ 8.8	82.3	83.1	82.5

5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿

(敬称略)

所 属	役職	氏 名	備 考
大田市社会福祉協議会	会長	知野見 清二	委員長
大田市医師会	副会長	川上 與一	副委員長
大田市議会	民生委員長	森山 幸太	
大田市自治会連合会	会長	安藤 彰浩	
病院ボランティア カーネーション	会長	森山 朝子	
大田市介護サービス事業者協議会	副会長	山内 祐樹	
島根県県央保健所	所長	藤井 俊吾	
大田市	健康福祉部長	布野 英彦	

(参考) 大田市立病院概要

病院名	大田市立病院
経営状態	地方公営企業法全部適用
所在地	島根県大田市大田町吉永1428番地3
病床数	229床(一般180床、療養45床、感染4床)
診療科目	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (計19科目) ※令和4年度以降、心臓血管外科は休診